

令和8年度第1回学校運営協議会議事録

令和8年5月29日（金）14時30分～16時

司会：副校長

場所：本校会議室

参加者

住友電気工業株式会社横浜製作所長	岩井	圭子
明治学院大学准教授	佐藤	公
鎌倉女子大学准教授	市川	道伸
横浜リハビリテーション専門学校担当グループ・主幹	長谷	達也
横浜市立千秀小学校長	平島	幸江
金井町内会長	安藤	博美
田谷町内会長	矢島	健司
栄区学校地域コーディネーター	石井	年恵
金井高校同窓会会長	森	秀明
金井高等学校長	笠原	昭彦
副校長	長瀬	右文
事務長	増尾	恵子
総括教諭（学習支援グループリーダー）	川本	佳子
総括教諭（生徒支援グループリーダー）	山崎	滋彦
総括教諭（活動支援グループリーダー）	西川	裕一
総括教諭（キャリア支援グループリーダー）	巻田	洋平
総括教諭（運営整備グループリーダー）	市川	薫
総括教諭（地域連携グループリーダー）	新倉	和彦
教諭（地域連携グループ）	青山	千智

〈概要〉

- 1、委員委嘱
- 2、学校長挨拶
- 3、委員紹介

- 4、協議

(1) 会長、副会長選出

今年度は会長を佐藤公様に副会長を市川道伸様にお願いする。

(2) 令和7年度学校評価について

別紙参照

【学習支援】

(川本総括)

「どんな生徒を育てたいか」について各教科で共有して生徒像を定めて授業を行っている。

【生徒支援】

(山崎総括)

生徒の規範意識自体は上がってきていると感じる。教員感の支援体制が確立されている。しかし、昨年度の問題行動の件数は3倍に上がっている。生徒のことをより細かく見ることができている。予防的な対策や支援が必要になってきている。地域の方との支援体制を築いていきたい。

(佐藤 様)

なにか問題行動の傾向に変化はあったか。

(山崎総括)

SNSトラブルでの問題行動が10件ほどあり、保護者に来校していただき指導を行った。女子更衣室での写真撮影やその写真の投稿があり、一部の生徒の規範意識や一般的なマナーが低いと感じている。傾向は、生徒が幼くなっていると感じるが、身体的な暴力等反社会的な行動は少なくなった。

(佐藤 様)

これから本校の生徒になる世代なので気になった。

(校長)

栃木県での事件のような、闇バイト等の事件は身近にあると危機感を覚えている。大麻等薬物関係も気をつけなくてはならない。海沿いのエリアでは、小学生も売買に関与させられている。高校生に対しても、注意喚起をしていく。

(市川 様)

学校内では教員に向けてどのような研修をしているのか。

(山崎総括)

特別指導に上がるたびに、臨時職員会議を行っている。少なくとも昨年度の56人分は臨時職員会議を開き、情報や指導について共有している。そのため、日々研修と言える。

(校長)

特別支援の先生に特性のある生徒を見ていただくこともあった。

全国傾向では、自死が増加している。職員会議等で教員に対して生徒対応は気をつけるように伝えている。

不祥事も増えているが、県からの指示とは別で、ニュース等がある度に職員間で共有している。

(副校長)

「不祥事ゼロプログラム」と呼ばれる研修も毎月実施している。他の校種ではどうか。

(鈴木 様)

中学校でも研修を実施している。生徒向けに SNS の使い方に関する講習や、保護者向けの講習も行っている。トラブルが起こる度に、こまめに指導している。中学校ではスマホの持参が禁止だが、それを破る生徒もいる。スマホに関するトラブルは多い。

(平島 様)

小学1年生でもスマホは持っている。許可制でスマホを持ってくることがあるが、帰宅後のオンラインゲームでのトラブルが多い。保護者への啓発を行っていかなければならない。

また、性の教育がより一層大事になっていると感じる。

(石井 様)

夢が叶う高校だと思って入学してくる。悩んだときに誰かに相談できる事が必要。見守っているということが重要。生徒も保護者も教員も一人で抱え込まないということが重要。

栄区版のタウンニュースにも金井高校についての掲載があり素晴らしい。遠藤航選手や正門前に掲示されている陸上部の活躍もすごい。

(森 様)

養護教諭が教員間のネットワークづくりに励んでいて、「みんなで見ていく」という雰囲気があって良い。SNS 関係のトラブルを注視している。匿流等に高校生が使われやすい。教員も生徒が普段どんな情報に触れているのか知るべきだと思う。「闇バイトに気をつけなさい」と言うだけでは不十分。闇バイトを他のバイトと区別していく力はあると思うが、教員も知るべき。金井高校の部活動の Instagram 等も把握しておくべき。若い教員に頼ってコンピューターの活用を進めていくべき。

(長谷 様)

生徒の不祥事(退学など)があったとき、責任はどうしているのか。

担任が一人で考え込んでしまわないように、生徒のトラブルが起こったときの、教員の介入の方法はどうしているのか。どんなことに取り組んでいるのか。

(山崎総括)

職員室で生徒の名前がよく出ている。それだけ、生徒情報共有が綿密に行われている。教員が生徒に対してどんなことを発しているのかも把握しやすい。各学年で学年通信を発行している。情報共有ができていないことはトラブルが起こる原因の1つだと考える。

(校長)

情報共有は本当によくされている。システムティックにスムーズに問題解決に進めていると思う。

(石井 様)

校長や副校長はどの程度生徒との関わりがあるのか。挨拶はとても大切。

(校長)

生徒がよく挨拶をしてくれる。「トイレが臭いんだけど、なんとかしてくれないですか」と声をかけられることもあった。

(石井 様)

先生方、笑顔を絶やさず生徒に関わってほしい。

(森 様)

挨拶に関して金井は非常に強い。

(矢島 様)

自転車通学が多く、地域性がある。自転車マナーの指導も受けて社会性を磨いていくのだと思う。金井高校ならではの学びを得てほしい。地域性を活かして学んでほしい。自転車マナーに関して、「どうしてだめなのか？」というところまで学んでほしい。ヘルメットの着用に関してはどのように指導しているのか。

(山崎総括)

推奨はしているが、強制はしていない。保護者の判断に任せている。

(矢島 様)

神奈川県ではどうなっているのか。

(山崎総括)

努力義務なので強制はしないが、推奨はしている。

自転車のマナーに関してお電話いただくこともあるので、その都度指導している。

青切符の始動もあり、指導はより力を入れている。柏尾川沿いに教員が立ち、指導する期間も設けている。警察・学校・地域が連携して指導して行くことが必要。

(安藤 様)

自転車の並走は見かけることがある。ぜひ学校から今後も指導していただきたい。

(矢島 様)

移動交番が来ている。人の目は必要だと思う。

(石井 様)

移動交番の警察官は田谷の交差点のところで、小学生を見守ってくれている。

高齢者も意外と自転車のルールが危ない。

ヘルメットは努力義務だが、見る限り着用している人も見かける。

地域の声を聞くと、並走は減っているよう。

【活動支援】

(西川総括)

生徒の自主性を上げることが課題。数値で見ることができないため、変化が分かりづらいが、昨年度は生徒へ刺激を与えることができた1年間だったと振り返る。今年度も生徒の反応を見ている。結果が楽しみ。

【キャリア支援】

(巻田総括)

「消極的な進路選択者が皆無だった」ということが成果。最新版の進路概況が出たのでご覧いただきたい。例年に比べて国公立大学への進学者が多く、進路指導の成果が出た。

(岩井 様)

生成 AI をどのくらい高校生は使用しているのか。考える過程で生成 AI を使うのは危険だと思う。

(巻田総括)

生成 AI で「添削する」という使い方を推奨している。

昨年度は英語科で、英検のライティング対策として使える Gemini を使用した。

(岩井 様)

今後 AI は、より身近になっていくであろうが、依存しない形での教育を進めていきたい。生身の、対面の良さを伝えてほしい。

(森 様)

生成 AI は道具なので使い方次第で良くも悪くもなる。

AI は悪いことを言わないし、全くのデタラメが返ってくる可能性がある、という 2 点に特に注意する必要がある。

【運営整備】

(市川総括)

2 学期のシェイクアウト訓練について。地震の発生時間を周知せずに実施してみた。火災訓練では、火災発生場所を知らせず、実際に火災が発生した時を想定して実施した。スムーズに実施することができた。

【地域連携】

(新倉総括)

地域の行事やイベントへ生徒を積極的に参加させた。学校説明会等では、金井キャンパスナビゲーターに活躍してもらった。残り短い金井高校をより盛り上げていきたい。

(3) 令和 8 年度学校目標等について

別紙参照

【学習支援】

(川本総括)

授業評価集計結果をもとに目標を立てた。

教科によって評価にばらつきがあるが、生徒がきちんと各教科に向き合っているとわかる。

今年度実施予定の授業評価アンケートでは自由記述の分量が増えることを目指したい。なにか書きたいと思うことがあるような授業を目指す。

研究授業月間を設け、教員の授業力も向上させたい。

(平島 様)

各グループリーダーが校長の定める方針を受け止め、体現しようとしていることに感動している。

学習に関するアンケートの質問事項は県から決まっているのか。

(川本総括)

県から指定された質問事項で実施した。

(佐藤 様)

決められた質問と併せて、さらにその選択肢を選んだ理由を述べるような欄を設けると、自由記述よりも書きやすいと思う。

【生徒支援】

(山崎総括)

生徒の心のケアや対人関係の指導等を行っている。

教育相談に関して、年間行事にあるように年間3回の面談をする機会を設けている。業務の中に面談の実施を入れているため、きちんと時間をとることができる。

面談をし、情報を共有するように昨年度から務めている。さらに、各学年に教育相談コーディネーターを配置している。

昨年度は盗難が増えた。警察に廊下を歩いてもらうことや、手荷物の管理に関する指導、授業時間内の循環指導等、防犯に関する指導もしている。

学年通信等情報発信にも務めていきたい。

(平島 様)

学習に関するアンケートの他に、生活に関するアンケートは実施しているのか。

(山崎総括)

サポートドックを別で行っている。生徒の状況をキャッチできるようにしている。

(平島 様)

学習と生活はリンクしていると考えため、学校生活の充実度に関するアンケートをとることもいいと思う。数値で金井高校の充実度がわかるし、その結果を外部へ発信することでアピールにもなる。

【活動支援】

(西川総括)

学校生活の充実と生徒の自主性の育成の2本柱で目標を立てた。

今後、生徒数が減ってくることも念頭に置いている。

学校生活の充実を図るために、今年の1年生の部活動の加入を強く進めている。複数の大人の目で見てあげることができる。

自主性を引き出すために、まずは刺激が必要。地域の方の力を頼って、学校行事を盛り上げて行きたい。文化祭等で地域との関係性を深めていきたい。ぜひ力を貸してください。よろしくお願いいたします。

【キャリア支援】

(巻田総括)

生徒が行きたいところに進めるよう、仕掛けを用意している。夏期講習中に某予備校と提携を組み、集中講座を実施する。学びに対する貪欲さを養ってほしい。

「神奈川カーブ」になりがちだが、外部の塾等に頼り切りにならず、学校内で学べるようにしたい。

教育実習生との懇談の場を設け、進路について身近な人に相談する機会をつくる。

ワーキンググループを設立し、「生徒の身近な困りごと」に関して探求を進めている。今後、困りごとの範囲を広げ探求を進めていく。

生徒の学びを止めないということに加え、教員のモチベーションを上げるため、また次の移動先の学校で総合探究のカリキュラムを考える中心メンバーになれるように、努めていく。

(長谷 様)

社会課題に対して探求してほしい。高校生の自分たちにできることは何なのか考えてほしい。主体性や当事者意識を持って、社会課題に向き合してほしい。

【運営整備】

(市川総括)

適切に環境整備に務めたい。幼い生徒もいるため、校舎の故障等に適切に対応していきたい。

【地域連携】

(新倉総括)

中学生に向けてアピールする材料を集めている。

完校が近づくにつれてこぢんまりとしていく中で、個人個人のつながりを強められるように務めていきたい。

学校説明会やホームページ、Instagram を充実させて、中学生へアピールしていきたい。

様々なところで地域との関係を強めていきたい。

(森 様)

金井高校が頑張っているということを発信していくことも重要だと思う。再編統合が決まっている高校の中で、入試倍率が1倍を超えたのは金井だけ。このことから、金井高校が頑張っているということはよく伝わっていると思う。

校舎はなくなっても、思い出は残る。同窓会としても、完校まで尽力していきたい。

来年度入学の生徒から高校3年間の中で後輩が入ってこなくなる。

学校がなくなる前提で、R9より4年間の学校教育計画を策定するべきだと思う。校長先生、交渉をお願いします。

(森 様)

卒業式での3年生の「金井最高」の声を外部へ届けるのも、良いアピールになると思う。

(4) R8年度学校運営協議会年間予定について

- ・第2回 11月12日(木) 13:00～15:40 5校時：授業見学 6校時：協議会
- ・第3回 3月5日(金) 14:00～15:30

金井祭は9/26(土)午後のみ、9/27(日)終日、ご来場いただけますので、お時間のある方は是非お越しください。

〈配布資料〉

- 1 令和8年度学校運営協議会構成員
- 2 金井高等学校グランドデザイン
- 3 学校教育計画(令和6年度～9年度)
- 4 神奈川県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則
- 5 令和7年度学校評価報告書(実施計画)
- 6 令和8年度学校評価報告書(目標設定)
- 7 49期生 2026(令和8)年度入試 進路結果のまとめ
- 8 令和8年度年間行事授業時間数シート
- 9 令和7年度生徒による授業評価の集計結果